

あなたが あなたらしく生きるために

今や認知症は、誰もがなる可能性があり、また関わることになるかも知れない身近な病気です。自分や家族、友人が認知症になつても、その人が自分らしく生きられる社会であるために、認知症について正しく知り、早期受診や治療につなげること、認知症の人との関わり方を知ることが大切です。

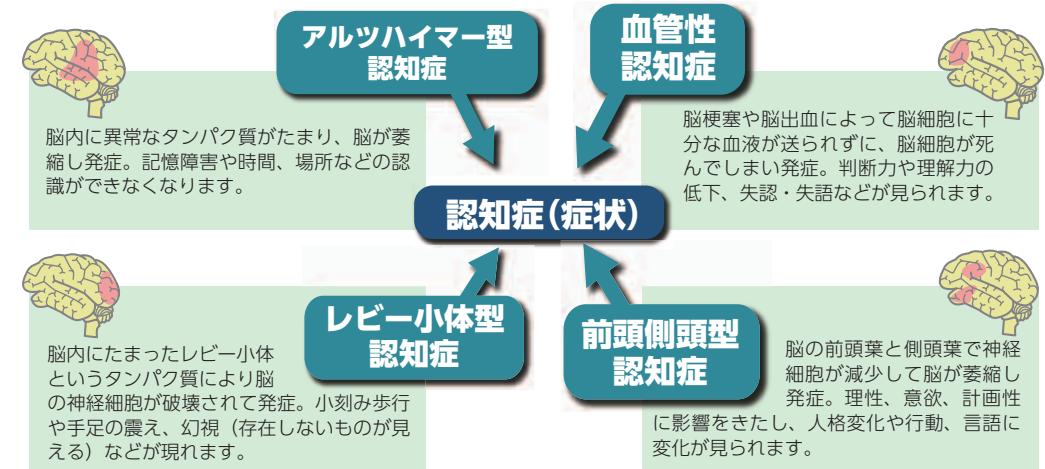
2025年には、65歳以上の約5人に1人が認知症になると言われています。今回は、認知症についての知識や支える人、認知症の進行を遅らせる予防について一緒に学んでいきましょう。

#01 認知症を知る



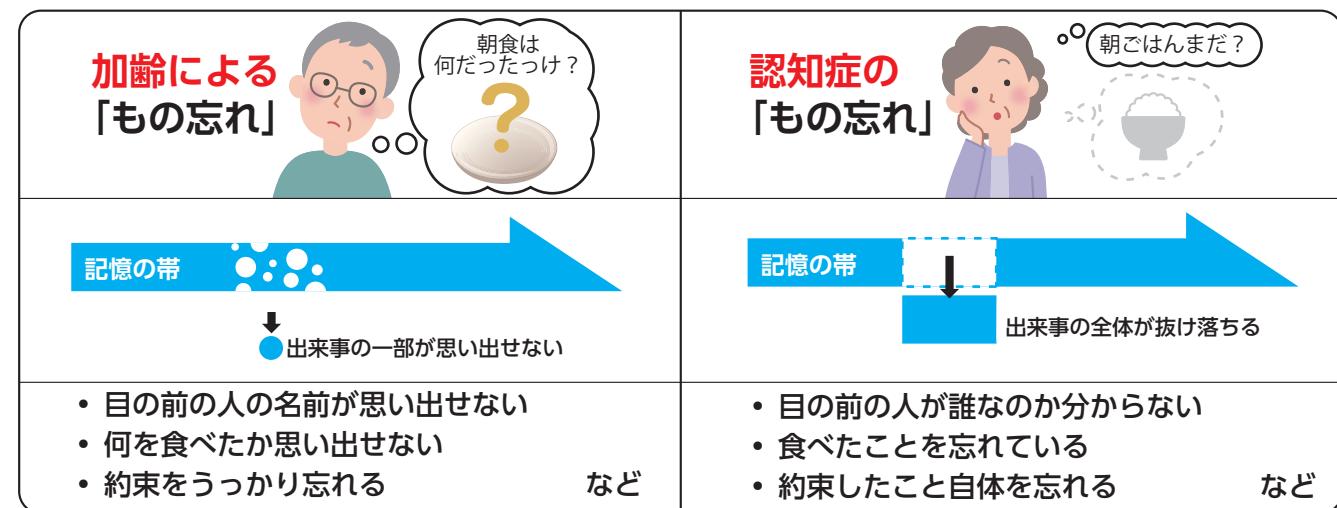
主な認知症は4種類あります

認知症とは、さまざまなものによって記憶力や判断力が低下し、日常生活に支障が出ている状態をいいます。認知症の主な4種類を知ることが大切です。



「加齢によるもの忘れ」と「認知症によるもの忘れ」の違い

加齢によるもの忘れは「体験の一部を忘れる」のに対して、認知症によるもの忘れは「体験そのものを忘れる」という特徴があります。例えば、朝ごはんに何を食べたか思い出せないのは加齢によるもの忘れで、朝ごはんを食べたこと自体を忘れてしまう場合は認知症が疑われます。



※症状には個人差があります。

#02 認知症を支える



キャラバン・メイトとは

学んだ知識や体験などを地域、職場、学校などで町民に伝え認知症サポートを育てる人たちです。

キャラバン・メイトの対象は、認知症介護指導者養成研修修了者や認知症介護実践リーダー研修修了者、介護相談員などで、年間10回程度を目安に認知症サポート養成講座を開催できる人です。

2年に1回開催される講習で認知症の人への声の掛け方や認知症サポートに教える方法を学びます。キャラバン・メイトの皆さん、認知症になつても安心して暮らせるまちづくりに向けて、関係機関・組織・団体などへの働きかけ、協力・連携体制づくりなどを推進し、地域のリーダー役を担うことが期待されています。

地域のみんなで見守っていきたい

母がキャラバン・メイトだったのと、自分が学んできたことを地域の人たちにも広めたいと思いキャラバン・メイトになりました。地域の人たちに認知症を身近に感じてもらい、そこで学んだ人たちが認知症の人を支え、別の人々に認知症の知識を広めていくような支援の輪が広がったら嬉しいです。また、多くの若い人たちが養成講座を受講して、福祉の仕事を知るきっかけにもなったらしいなと思います。



デイサービス祐
瀬川 綾さん



私たちが皆さんの味方です

認知症サポーター養成講座を開催します

認知症の基本知識を学ぶことができます。

- 日 時 10月26日(水) 午後1時～
- 場 所 役場1階多目的室
- 申込方法 電話か専用フォームからお申し込みください。
- 申込期限 10月7日(金)
- 申し込み 町地域包括支援センター ☎096(292)0770



申し込みは
こちら▼

家族の皆さん 相談することも一つの支援です

問い合わせ 町地域包括支援センター

☎ 096(292)0770

認知症の人を支える

認知症の症状が進むと今までできていたことができなくなっています。そのようなときは、「認知症になつた」と思われるかもしれません。認知症になつた人は何もできなくなることがあります。認知症になつたから全部やってあげようと思われるかもしれませんが、それが、その人が自分らしく生きるためにには、できることを褒めて、温かい目で見守ることが認知症の人を支えることではないでしょうか。
認知症サポーターになることで認知症について正しい知識を学び、オレンジリングを身に着けた応援者、サポートとして支えていきましょう。



オレンジリング
認知症
サポーターの証